

【朝日カルチャー講座 森林インストラクターと楽しく！ 野外の自然観察】

## 「早春の水源の森を歩こう！」一曲淵ダム周辺

寒の戻りで未だ肌寒い3月22日、9時50分に野河内溪谷入口にて、総勢15名集合。足腰を中心としたストレッチ体操、水源かん養林についての説明や注意事項のあと、約3kmのコースを3時間半かけてゆっくりと散策しました。

早春の水源の森は、新しい命の息吹がいっぱい感じられ、木本ではキブシ、アブラチャン、シロモジ、ニワトコ、オオバヤシャブシ、タラの芽など、草本ではツクシショウジョウバカマ、ヒゴスミレ、ヤマネコノメソウ、サツマイナモリなどたくさんの山野草が出迎えてくれました。

事前にリストアップした30種を中心に、約50種類以上の植物が観察でき、皆さん、ルーペでミクロの世界を覗いたりして、5感をたっぷり使ってとても楽しそうで大満足の様子でした。予定より30分タイムオーバーしましたが、皆さんの熱心な観察態度に感銘。昼食は、近くの〈蕎波人〉で美味しいそばを頂き、これもとても好評でよかったです。

(纏めでの参加者の感想から)

- ①森林浴がいっぱいできました。
- ②フィトンチッドを十分浴びることができた。
- ③キノコ(サルノコシカケ、アミガサダケを観察)が森の掃除屋さんの働きをしていることを聞き、考えを新たにしました。
- ④シャガ(アヤメ科)の花の構造を分かりやすく分解して説明して頂き、雌蕊が雌蕊を守る神秘の仕組みに感動しました。
- ⑤竹が樹木の林に入って森林が荒れている感じがした。竹林の整備や間伐の大切さがよく理解できました。
- ⑥資料に、草本のロゼットの写真がつけられていたので、良くわかった。
- ⑦毎回新しい発見があつて楽しい。今回はキノコとシャガ。 等々。

お世話頂いた朝日カルチャーセンターの増澤さまからも「本日はいろいろとありがとうございました。先生方の丁寧な説明で、皆さん植物の不思議に沢山発見があつたようで、今日も楽しい一日になりました。お蕎麦もとても美味しかったです。」と嬉しいメールも頂いています。(スタッフ; 鶴田 西岡)

